

第 1 学年 学年経営案

<p>学校教育目標</p>	<p>「自立・貢献・信頼」                  (1) 自ら学ぶ生徒                  (2) 思いやりのある生徒                  (3) 健康に努める生徒</p>	<p>学年教育目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の習慣を定着し、基礎学力を身につけよう。</li> <li>・集団としてのきまりを守り、相手を思いやる心を育てよう。</li> <li>・何事にも積極的に取り組み、最後までやりとげよう。</li> </ul>
<p>学校経営方針と重点目標</p>	<p>1 「教育は未来づくり」を理念として                  2 流行を取り入れた不易を大切に                  3 組織体として3つのワークを合言葉に                  4 日常の学校生活は「凡事徹底」を貫く                  5 校務分掌組織を活性化し、PDCA サイクルによる教育計画の実施を図る</p> <p>重点目標                  (1) 創意工夫を活かした特色ある教育活動の展開                  (2) 学習指導の充実と確かな学力の育成                  (3) 生徒指導・教育相談の充実                  (4) 進路指導・キャリア教育の推進                  (5) 体力の向上と体育活動の推進                  (6) 安心・安全な学校づくり                  (7) 特別支援教育の充実                  (8) 道徳教育の充実                  (9) 学校・家庭・地域が一体となった教育力の向上                  (10) 教育公務員としての自覚を持った教職員集団の構築</p>	<p>学年経営方針</p>	<p>① 生徒の立場に立って、学年目標の具現化に努める。                  ・基礎学力の定着                  ・集団の中の自己の育成                  ・積極的態度、やりぬく力の育成                  ② 生徒一人一人に目を向けた指導を。                  ・休み時間や空き時間の見回りなどで問題の早期発見、指導をしていく。また、そのことが生徒と接する時間を大切にしていくことにもなる。                  ③ 分掌担当の意識を高め、仕事をしていく。                  ・それぞれの担当者が早めに案を出し、それを基に指導していく。                  ④ 学年教員の共通理解に基づいた指導・行動を。                  ・決まったことを皆でやっていく、指導していくことが教育の成果につながるものであり、教員の指導の違うことが教師不信にもつながる。                  ⑤ 報告・連絡・相談「ほうれんそう」を大切に。                  ・何か起こった時に、すぐに報告・連絡・相談をしていく。                  ⑥ 委員会やクラスの中でリーダーを育てる指導を。                  ・集団の活動の中で、責任を持たせて仕事をまかせるリーダーを育てる。</p>
<p>学習指導</p>	<p>たいへん意欲的に学習に取り組もうとしている生徒は多いが、その半面、基礎学力が不足していることにより、なかなか理解が深まらない生徒が見られる。まずは、学習の習慣を身につけさせ、基礎学力の定着を図っていく。</p>	<p>生徒指導</p>	<p>学年教員が共通理解し、共に同じ指導をしていくことにより、生徒の不信感を招く指導はしない。また、規律を重視することにより、積極的な生徒指導を図る。そして、問題行動の早期発見、早期解決をめざす。</p>
<p>道徳指導</p>	<p>思春期という感情のコントロールが難しい時期であるがゆえに、自律心を身につけさせたい。                  また、集団の中の一員として何をすべきかを考え、他者との関わりの中で思いやりの心を育てる。</p>	<p>進路指導</p>	<p>将来、自分自身がどのような仕事をするかということを考えるために、どのような職業があり、どのような特性が必要であるかを中心に取り組む。その後、職業体験を経験し、「働く」ことの意義を考えさせる。</p>
<p>特活指導</p>	<p>いろいろな行事、委員会活動や係活動を通して、集団の中の一員として、それぞれの人が、リーダーとしてやるべきこと、協力すべきことを考える力を育む。また、最高学年として、下級生の見本となる責任ある行動ができるようにしていく。</p>	<p>家庭との連携</p>	<p>学校・学級での活動が各家庭にわかるように「学年だより」「学級通信」などを通して理解を深める。日ごろから保護者との連絡を密にし、生徒の変化や行動を気にかけて、対応していく。</p>